

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サンプラスチックテクノロジーセンター	階数	地上2F
建設地	京都府相楽郡精華町	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年4月 0.0	評価の実施日	2012年9月1日
敷地面積	9,028 m <sup>2</sup>	作成者	桐山晋一
建築面積	3,595 m <sup>2</sup>	確認日	2012年10月1日
延床面積	4,087 m <sup>2</sup>	確認者	長尾彰

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★★★★★

標準計算  
①参照値  
②建築物の取組み  
③上記+②以外の  
④上記+

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物形状をシンプルにまとめ生産機能を高めている。また周囲の景観にも配慮した設計としている。	<b>その他</b> 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
<b>Q1 室内環境</b> 効率の良い設備配置を行い、室内環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 室面積、天井高さなど余裕を持った計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 植栽を多く配置し、景観に配慮している。地域に生息している樹種を選定している。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁及び屋根を熱不可の少ない材料を使用し、空調負荷を抑えている。またLED照明の採用により消費電力を抑えている	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 再生材などを積極的に利用する計画としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地周囲に植栽を多く配置し、温暖化への配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される